

1 がんやがん検診についての周知・啓発

1. 関係機関・団体における主な取り組み

	具体的な内容	関係機関・団体
1	<ul style="list-style-type: none"> ・H29年11月12日に熊本県歯科医師会館において「地域の口腔がんを考えるシンポジウム」を行った。 ・H30年2月4日 第63回肥後医育塾市民公開講座「歯科口腔外科医療の最前線～お口の中から全身の健康を見つめなおす！」において「今すぐ始めよう、口腔がん検診」と題する講演を行った。 	熊本大学大学院生命科学研究部 中山氏
2	校区イベントなどで、健康チェックを保健師さんと実施している時に配布のお手伝いをした。	地域包括支援センター連絡協議会
3	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに35歳以上の受診対象者のいるすべての事業所あてに、がん検診を含む生活習慣病予防健診の案内を送付(子宮頸がんは20歳以上偶数年齢対象) ・40歳以上の被扶養者に対する年度初めの受診券送付時に、集団健診でのがん検診・特定健診同時受診について案内。 ・40歳以上の被扶養者への受診券送付時に、熊本市のがん事情及びそれぞれのがん検診の受診方法などが詳細に記載されたリーフレット(熊本市作成)を同封している。 	協会けんぽ
4	<p>がん予防・対策についての研修会を実施した。</p> <p>ホームページに「職域におけるがん検診マニュアル」(厚労省ホームページ)やがん検診についての情報を案内した。</p>	熊本産業保健総合支援センター
5	関係機関からの講演会等のお知らせについて、自団体や各園が出来る範囲で、保護者や職員等への周知や啓発に努めた。 例)チラシ等の保護者配布・園内掲示・園内(玄関)へ設置、ホームページへの掲載	市私立幼稚園・認定こども園協会
6	<ul style="list-style-type: none"> ・事業場に対する監督指導等において、定期健康診断、じん肺健康診断及び有害物質にかかる健康診断の実施を指導した。 ・全国労働衛生週間に向けた講習会において、作業環境管理、作業管理、健康管理の重要性について周知を図った。 	労働基準監督署
7	8020の会としては各支部において研修会やイベント等で歯の大切さをチラシや口頭で啓発活動をしているが、特にがんについての啓発をしている状況ではない。今後は口腔がん等についても周知をする必要を感じている。	8020健康づくりの会
8	毎年11月に厚生連による職場健診を実施しておりますが、受診者320名中165名ががん検診を受け、他医療機関受診者213名を加えますと7割以上の職員ががん検診を受診することになります。各支店管内で実施している厚生連の健康診査については、本支店会議時で厚生連担当より説明を仰ぎ、呼びかけを行っています。平成29年度受診者は2188名ですが、健診会場の都合によりがん検診ができず、他機関を利用させていただいたため、厚生連でがん検診を受けられたのは370名でした。	熊本農業協同組合
9	パンフレット等を活用し、定期健康診断や人間ドックによる職員のがん検診について周知し、受診啓発している。	楡木小
10	研修会等において啓発活動をチラシやパネル等で実施、また地域のイベントにおいては食事とがん予防等のリーフレットを配布した。	県栄養士会
11	すこやか伝達講習会等でパンフレットを使って特定健診の説明と配布をしました。	食生活改善推進協議会
12	在宅医療推進フォーラムの公開講座でがんの在宅患者の実態を学んだ。	中央区内
13	校区イベント(異世代交流等)に於いて、東区健康まちづくり推進委員によるパンフレットの配布、保健師さんと協力して乳がんの触診の啓発を行った。	東区内

2. 関係機関・団体における上記以外のH30取り組み・予定

- ・熊本市8020推進員育成講座で推進員に対する講演を行った(H30年9月13日)(熊本大学大学院生命科学研究部 中山氏)
- ・保健師さんと一緒に校区のイベント等で周知を図る。(地域包括支援センター連絡協議会)
- ・昨年度は台風の為中止となったが「結核・がん予防キャンペーン ヘルシーデイくまもと2018」でチラシ配布を行った。(県歯科衛生士会)
- ・ヘルシーデイくまもと2018をホームページに掲載し、会員及び一般向けに周知を行った。(市薬剤師会)
- ・治療と仕事の両立支援にかかるセミナーや、地方開催としては全国初となる「平成30年度両立支援コーディネーター基礎研修(熊本会場)」を実施し、がんについての知識や治療と両立支援に関する情報を提供した。(熊本産業保健総合支援センター)
- ・8020の会では各支部ごとに研修会やイベント等において歯の大切さ口腔ケア等の啓発を言葉やチラシ等により周知しているが、今後は口腔がんやその他のがんについても積極的な周知をしていくように考えています。(8020健康づくりの会)
- ・厚生連が、平成29年より施設での日帰り人間ドックを本格的に稼働を始めたことにより、農協組合員に人間ドック検診をお奨めし、若い後継者達の受診に繋がりました。(熊本農業協同組合)
- ・校区のイベントのみならず、町内の諸行事等にも保健師さんと協力して健康ブースを設け、健康まちづくり推進委員による啓発活動を実施していきたい。(東区内)

3. 行政における主な取り組み

	具体的な内容	行政(課)
1	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所ロビー等を利用した啓発ブースやイベント等の機会を活用し、がんやがん検診についての情報提供を行った。 ・一定の対象年齢の方へ5がんの個別受診勧奨通知を送付した。 ・子宮頸がんの罹患率の高い20～30代の女性に対し子宮頸がん検診の個別受診勧奨を行った。 ・一定年齢到達者へ乳・子宮頸がん検診の無料クーポン券を送付した。対象者の誕生日で受診期間を設け、期間経過後に再受診勧奨を行った。 	健康づくり推進課
2	<ul style="list-style-type: none"> ・中央区19校区全てにおいて、校区のイベント・健康講座、役員等の会議などの場を活用し、がんに関する情報提供、リーフレットやクイズ・媒体を通して早期発見・早期治療の必要性についてPRを行なった。 ＜実施状況 19校区 111回 延べ3,531人＞ ・校区毎の自治協議会や民協会議、連絡会等の中で啓発。 ・1歳半健診時(32回 延べ1,404人)及び3歳児健診時(32回 延べ1,488人)、妊産婦健康相談時(1,896人)において、熊本市のがん検診のパンフレットを配布し、啓発を行った。 ・子育てネットワーク・児童室等における健康教育、育児相談等の場で啓発を行った。 ・育児相談や家庭訪問、健康相談等で、個別に健診の受診方法を説明した。 ・区役所の窓口やコミュニティセンター等にごんに関するチラシを設置し、ポスターを掲示した。 	中央区保健子ども課
3	<ul style="list-style-type: none"> ・集団や地域、個人に対し、リーフレットを配布したり模型やモデルを用いて検診方法用いたりし、周知・啓発を行った。 ・校区単位で行う会議や高齢者サロン、育児サークル等のイベント、健康づくりボランティア(食生活改善推進員や健康まちづくり推進員)の定例会や養成講座等々での啓発 108回、延べ2528人 ・1歳6か月児健診と3歳児健診での啓発と、受診できる医療機関について情報提供。 144回、3729人 ・家庭訪問や個別健康相談等でがんやがん検診の情報提供を行った。 	東区保健子ども課
4	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりを考える組織や地域の民児協や社協等へ情報提供を行ったり、地域のイベント等の機会を活用してがん検診についてのPRを行った。また、子育てサークルや高齢者サロンの参加者へ適宜情報提供を実施。(61回1774人) ・幼児健診では、毎回全受診者へ子宮がん(対象年齢の方には、乳がん検診)のリーフレットを渡して受診確認と未受診者への受診勧奨。(72回1496人) ・西区フェスタ等の機会(H30.2月)を捉えて来場者へ啓発を実施できた。 ・各校区が作成している広報紙に健康課題や健診情報について掲載した。 	西区保健子ども課

5	<p>育児サークルで9回延175名 会議(民協や自治協等)で52回延695名 サロンで10回延172名 イベントで12回延388名 幼児健診に来所した保護者延2880名 以上に対し、健康教育、啓発を実施した。</p>	南区保健子ども課
6	<p>・区役所ロビー等を利用した啓発ブースでの情報提供 ・イベント等の機会を活用して、がんやがん検診についての健康教育や情報提供(年間延べ1641人、チラシ配布は2052人) ・幼児健診の受診者全員に啓発チラシを配布(年間52回、対象児2600世帯)</p>	北区保健子ども課
7	<p>・みんなで話そう会～がん患者の交流会～(H29.10.20) ・講演会・グループ別交流会 主催:がんサロンネットワーク熊本、働き&子育て世代のためのがんサロン 共催:熊本市 ・講演会:樋野興夫氏「がん哲学外来へようこそ」(H30.3.4) 主催:熊本・生と死を考える会 共催:熊本市</p>	医療政策課
8	<p>市政だよりで検診について周知 結核・がん予防キャンペーン「ヘルシーデイくまもと」への協力(H28年度は地震によりH29年度台風により中止)</p>	感染症対策課
9	<p>・40歳以上の国保被保険者に対して「特定健診とがん検診の受診方法についての詳しい説明リーフレット」と「特定健診と同日に受診できるがん検診実施機関等の一覧」を特定健診の受診券と共に個別配布(約12万通)し周知を図った。</p>	国保年金課

4. 行政における上記以外のH30取り組み・予定

- ・乳がんの罹患率の高い40～60歳までの乳がん検診対象者へ乳がん検診の個別受診勧奨通知を送付した。(7月)(健康づくり推進課)
- ・大腸がん郵送検診のチラシを作成し、回覧板で全戸回覧を行った。また、市の公式LINEでも周知した。(郵送検診は11月～2月までの実施)(健康づくり推進課)
- ・イベント主催者・関係者と連携し、新たな啓発場所を増やした。(東区保健子ども課)
- ・イベントに来所される対象者に応じて、がんの種類を特化し、啓発。例:女性のがんのみ、乳がんのみ、大腸がんのみ、等。(東区保健子ども課)
- ・松尾地区での集団健診の廃止に伴い、西区役所隣の西部交流センターにて集団健診をH31年2月実施予定。啓発の為に、今まで集団健診の実施がなかった熊本駅エリアにも回覧で周知を行うことにした。(西区保健子ども課)
- ・新たに育児サークルで啓発を実施した校区もあり。(南区保健子ども課)
- ・がん緩和ケア講演会&相談会「熊本でがんとともに生きる」(H31.1.27開催予定)(医療政策課)
- ・「ヘルシーデイくまもと」への後援・協力(感染症対策課)
- ・10/21熊本市健康フェスティバルにおいて、特定健診とがん検診が同日に受診できる集団健診のちらしを作成し、周知・啓発を図った。(国保年金課)

2 がん検診を受診しやすい環境づくり

1. 関係機関・団体における主な取り組み

具体的な内容		関係機関・団体
1	職場で検診を勧めている。	地域包括支援センター連絡協議会
2	<ul style="list-style-type: none"> ・被保険者の受診機会を増やすため、生活習慣病予防健診実施機関を拡大。29年度は69機関と契約。 ・熊本市内における集団健診実施会場のうち、がん検診と特定健診のセット健診を実施する会場については、協会けんぽ加入者(40歳以上被扶養者)に対し案内文書を送付。 ・事業所の送付するチラシを活用し、事業主側に働き世代のがん検診の重要性を説き、法定健診から生活習慣病予防健診への切り替えを促した。 	協会けんぽ
3	<p>関係機関からの講演会等のお知らせについて、自団体や各園が出来る範囲で、保護者や職員等への周知や啓発に努めた。</p> <p>例) チラシ等の保護者配布・園内掲示・園内(玄関)へ設置、ホームページへの掲載</p>	市私立幼稚園・認定こども園協会
4	<p>職場において、検診を実施した。</p> <p>① 定期健康診断(人間ドック) 100%受診 ② 婦人科検診の実施</p>	労働基準監督署
5	がん検診等については特に高齢者に対して周知をしているが、地域で行うイベント等で若い人達に対してどうアピールしていくのか考える必要があると思うので、若い人向けのチラシ、パンフレットを作成し配布をすることが必要である。	8020健康づくりの会
6	日頃利用しているJAの支店や地域の公民館を健診会場として、地域の方が気軽に受診できるようにし、待ち時間が少なくなるよう時間を指定して混雑しないよう配慮をしています。	熊本農業協同組合
7	熊本地方卸売市場内の各事業者に対し、集団健診の呼びかけととりまとめを行い、健診の利便性を高めることにより、受診率を高めることとしている。	熊本地方卸売市場

2. 関係機関・団体における上記以外のH30取り組み・予定

・検診を勧めていく。(地域包括支援センター連絡協議会)
 ・被保険者の受診機会を増やすため、生活習慣病予防健診実施機関を拡大。30年度は70機関と契約。(1機関増)(協会けんぽ)
 ・健診車による生活習慣病予防健診の集団健診を土日に開催(2~3月に2日間)(協会けんぽ)
 ・がんと言えば高齢者と考えることが多いと思うので、より若い人達に向けてのチラシやパンフレットを作成し、日常的な各種イベント等で若い人達に配布し周知啓発活動をする必要があると考える。(8020健康づくりの会)
 ・平成30年10月30日(火) 武蔵コミセンにおいて大腸がん早期発見のためにと題し大腸肛門病センター高野病院 日隈忍先生の講演会を行った。
 「がんの現状、がんは本当に増えているのか、がん検診は必要か、大腸がん検診の方法」
 以上の事項を主に武蔵校区71名の参加で早期発見・早期治療によって元気で長生き、健康寿命を延ばす方法を教わった。(北区内)

3. 行政における主な取り組み

具体的な内容		行政(課)
1	・休日に東区役所においてがん検診と特定健診をまとめて受診できる集団健診を実施した。(H29.11.23)市役所本庁舎でも同様に集団健診を実施した。(H29.12.8) ・平成29年12月～平成30年2月に大腸がん検診の郵送検診を試行実施した。(受診者数:876人) ・仮設住宅内で肺・胃がん検診を実施した。	健康づくり推進課
2	特定健診とがん検診の集団検診を休日に開催した。	東区保健子ども課
3	・松尾東、松尾北の地域にて(特定健診・胃・大腸・前立腺(オプション))集団健診の実施 ・出張型健診(特定健診とがん検診の同時実施)の地域において、地域のコミセン等にポスターを作成して掲示した。	西区保健子ども課
4	・健康づくり推進課からの情報提供を受けて、地域の集団検診日時を地域関係団体へ改めて周知し、受診勧奨を行った。	北区保健子ども課
5	受診しやすい検診会場の検討。	感染症対策課
6	○特定健診とがん検診を同時に実施できる環境整備を図った。 H29年度:26ヶ所(H28年度+10ヶ所)	国保年金課

4. 行政における上記以外のH30取り組み・予定

- ・大腸がん郵送検診の申し込み方法を電話のみから、電子メール、FAXでの申込みも開始した。(健康づくり推進課)
- ・需要が多い胃内視鏡検査の導入。(健康づくり推進課)
- ・健康をつくるボランティア医師の会「けんつく会」と協働で実施した事業(医療機関での簡易血糖検査)の中で、大腸がん検診の受診勧奨を連携して行った。(中央区保健子ども課)
- ・西区役所隣の入浴施設も完備した西部交流センターで、特定健診もセットになった集団健診(特定健診・後期高齢者健診・胃・肺・大腸・オプション(骨粗しょう症・前立腺がん検診))の実施。(西区保健子ども課)
- ・花畑広場のイベント時に胸部レントゲンを実施。駐車場公社主催のイベント会場の一部を借用した。(感染症対策課)

3 他機関との連携による取り組み

1. 関係機関・団体における主な取り組み

具体的な内容		関係機関・団体
1	熊本県歯科医師会と合同で熊本県歯科医師会の会員が「口腔がん」などが疑われる場合に患者さんの口腔内写真を送付し、必要に応じて熊大歯科口腔外科を受診していただくシステムを確立している。「口腔粘膜疾患鑑別依頼システム」	熊本大学大学院生命科学研究部 中山氏
2	各診療所内にポスター等を掲示して啓発	市歯科医師会
3	県内14市2町在住の被扶養者(40歳以上)に対し、がん検診・特定健診同時実施の具体的な日程を掲載したダイレクトメールを送付。	協会けんぽ
4	研修会において、事業場等参加者に積極的な受診率向上への取り組み、周知を呼び掛けた。	熊本産業保健総合支援センター
5	関係機関・団体からの情報やお知らせについて、自団体や各園が受け取るのみ。	市私立幼稚園・認定こども園協会
6	「熊本における労働衛生の現状」を作成し、事業場に対し健康診断の重要性について周知を図った。	労働基準監督署
7	厚生連の担当を招き、各支部の総会等、人が集まる場所で説明をしていただいています。	熊本農業協同組合
8	他機関との連携を図るため、関係団体との会議の際に情報交換を行った。	県栄養士会
9	すこやか伝達講習会等でパンフレットを使って特定健診の説明と配布をしました。	食生活改善推進協議会
10	託麻原、帯山、帯山西校区社協で菊池市でがん当事者の家族が運営していたがんサロンを視察し運営の実態を研修した。	中央区内

2. 関係機関・団体における上記以外のH30取り組み・予定

<ul style="list-style-type: none"> ・H30年11月24日 熊本市歯科医師会学術講演会において口腔がん検診の重要性について講演を行った。(熊本大学大学院生命科学研究部 中山氏) ・ヘルシーデイくまもと2018をホームページに掲載し会員及び一般向けに周知を行った。(市薬剤師会) ・校区サロンでがんを含めた終末期について対話が予定。(中央区内)

3 行政における主な取り組み

	具体的な内容	行政(課)
1	<ul style="list-style-type: none"> ・がん対策を推進する企業2社とがん対策企業等連携協定を締結した。また、連携協定企業と情報交換のための会議を開催した。 ・熊本県・協会けんぽとの連携協定にもとづき情報共有を行った。 	健康づくり推進課
2	小中学校PTAバザーや運動会での健康相談時に普及啓発	中央区保健子ども課
3	<ul style="list-style-type: none"> ・区民祭りや校区イベントでの健康づくりコーナーでがん検診の啓発を行うことを主催者と情報共有した。 ・健康まちづくり推進員と協働で、住民に対する啓発の方法を企画し、実施した。 	東区保健子ども課
4	<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業の健康保険組合と連携し、被保険者に特定健診の受診勧奨通知をする際に、市で実施しているがん検診のPRチラシを同封させてもらっている。 	北区保健子ども課
5	<ul style="list-style-type: none"> ○健康づくり推進課との連携 特定健診とがん検診を同時に受診できる環境整備を図った。 	国保年金課

4. 行政における上記以外のH30取り組み・予定

- ・がん対策連携協定企業と共催で、がんに関する講演会を開催した。また、会場において啓発ブースを設置し、来場者への啓発を行った。(H30.5.13)(健康づくり推進課)
- ・健康をつくるボランティア医師の会「けんつく会」と協働で実施した事業(医療機関での簡易血糖検査)の中で、大腸がん検診の受診勧奨を連携して行った。(再掲)(中央区保健子ども課)
- ・イベント主催者・関係者と連携し、新たな啓発場所を増やした。(東区保健子ども課)
- ・協働でイベントを実施する医療機関と共に、がん検診啓発を行った。(東区保健子ども課)
- ・指定管理の施設での集団健診。(西区保健子ども課)
- ・済生会熊本病院予防医療センターと連携して、次年度地域で啓発活動を行うため、協議を継続中。(南区保健子ども課)